

平成30年度第7回 感染症発生動向調査部会  
議事要旨

1 日 時 平成30年10月17日(水) 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 入札室(岐阜市柳戸1-1)

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志(岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター 副センター長)  
大西 秀典(岐阜大学医学部附属病院 新生児集中治療部 准教授)  
澤田 明(岐阜大学医学部附属病院 眼科 講師)  
加藤 達雄(国立病院機構長良医療センター 呼吸器内科統括診療部長)  
オブザーバー: 川部 京子(岐阜市保健所地域保健課 感染症対策係長)  
事 務 局 : 上津 ひろな(保健医療課 主任技師)  
酢谷 奈津(保健環境研究所 専門研究員)

4 議 題 (進行:大西委員)

- (1) 2018年第36週～第39週、9月の感染症発生動向について
- (2) その他情報提供

5 議事要旨

【2018年第36週～第39週、9月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの報告と委員のコメントについては資料のとおり。  
(委員からのその他のコメント等)
- ・流行性角結膜炎は、成人の患者の多くは子どもから感染している印象であるが、県の眼科定点のデータをみると小児の患者報告が少なく、現状と乖離しているように感じる。  
→(事務局)確かに県内の眼科定点からは成人の報告が多く、一昨年流行時も同様であった。
- ・小児の場合、眼科ではなく小児科に受診することも考えられるため、眼科定点のデータでは小児が少なくなる可能性がある。

【その他情報提供】

○岐阜県における2017/18シーズンのインフルエンザの流行について

- ・事務局(保健環境研究所)から昨シーズンのインフルエンザの流行について各種サーベイランスのまとめを資料のとおり情報提供。

○感染症関連通知等

- ・事務局(保健医療課)から下記通知等について情報提供
  - ・季節性インフルエンザワクチンの供給について

- ・カプノサイトファーガ感染症に関する Q&A について
- ・麻しん患者の発生報告について（岐阜県報道発表）
- ・麻しんの発生に伴う注意喚起について
- ・風しんの届出数の増加に伴う対策について

(委員からのコメント等)

- ・今回の麻しん患者発生に関連することとして、麻しん患者が感染性のある期間に航空機を利用していたことが判明した場合には、航空会社に協力を求め、同じ航空機に乗り合わせた乗客全員に対してもれなくその旨が通知されるよう望まれる。